

やまがた 学校給食だより



第28号
令和元年5月17日

【編集・発行】
公益財団法人 山形県学校給食会
〒990-0051 山形市銅町一丁目2番12号
TEL.023-622-0938 FAX.023-631-0961
http://www.yamagaku.or.jp



プロスポーツチーム応援給食



目次

- 応援給食…………… 1-2
- 委託加工工場紹介…………… 4-5
- 食品検査室だより…………… 8
- 給食会組織図…………… 3
- 一般物資製造工場紹介…………… 6-7

※表紙の花 チューリップ 花言葉【思いやり、博愛など】

モンテディオ山形・パスラボ山形ワイヴァンズ & 山形県教育委員会 共同企画



山形県のプロサッカーチーム『モンテディオ山形』とプロバスケットボールチーム『パスラボ山形ワイヴァンズ』と山形県教育委員会がコラボ!!

県内の小学校、中学校、特別支援学校へ選手やマスコットキャラクターが訪問し、栄養教諭等と児童生徒へ食に関する指導を行っております。

公益財団法人 山形県学校給食会組織

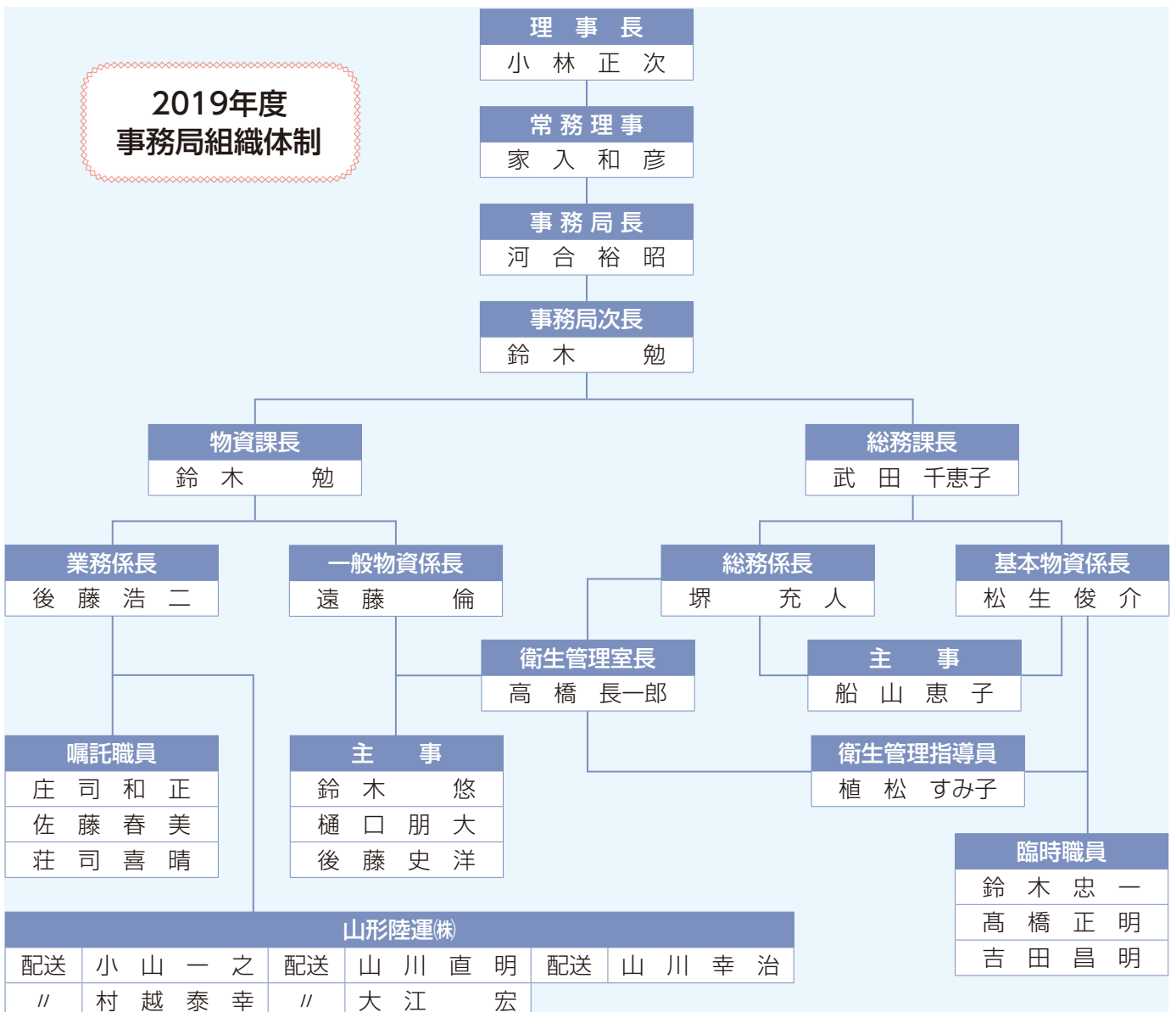
(平成31年4月1日現在)

職名	氏名	選出分野(所属)
評議員	荒澤 賢雄	山形県市町村教育委員会協議会
評議員	佐藤 敦	山形県特別支援学校長会
評議員	新關 昭弘	山形県市町村学校給食共同調理場連絡協議会
評議員	山口 光枝	山形県立米沢栄養大学
評議員	佐藤 朋江	山形県栄養教諭・学校給食栄養士会
評議員	高見 佳澄	山形県PTA連合会(母親委員会)
評議員	鈴木 幹雄	学識経験者(滝山コミュニティセンター)

職名	氏名	選出分野(所属)
理事長	小林 正次	公益財団法人山形県学校給食会
常務理事	家入 和彦	公益財団法人山形県学校給食会
理事	高橋 禎	山形県連合小学校長会
理事	阿部 善和	山形県中学校長会
理事	佐藤 博之	山形県PTA連合会
理事	吉田 勝彦	学識経験者(子ども育成ボランティア・山形)

参与	田村 光絵	山形県教育庁スポーツ保健課
----	-------	---------------

監事	江口 照芳	学識経験者
監事	吉田 敏昭	税理士(吉田敏昭税理士事務所)

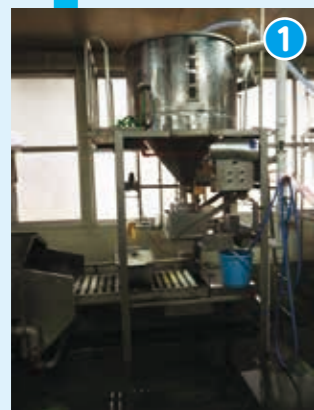


委託加工工場紹介!! vol. 01



ベタチョコ で有名な高島町にある、【たいようパン株式会社】へ たいようパンでは学校給食用パン・米飯を製造しています

ご飯ができるまで



窯にお米と水をいれます



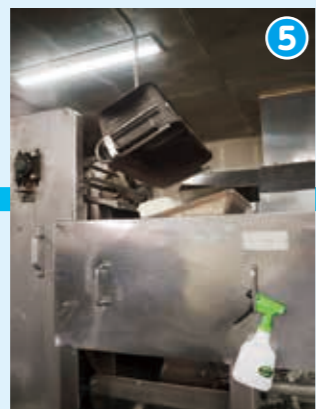
窯はこれから熱くて長いトンネルに入り炊き上げ



トンネルの中はこんな感じ!!



ご飯は、ほぐされ目視確認をしながら各クラスへ配缶



最上部からほぐし機へ



炊き上がったご飯はリフトへ



蓋をする前に、さらに目視



各学校へ出発!!

※上記のパン・米飯の製造工程は一部省略して掲載しております



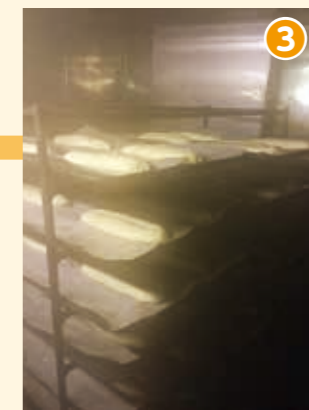
パンができるまで



大型のミキサーで原料をミキシング



1つ1つ丁寧に形を作っていきます



大型のホイロで生地を発酵



大型のオーブンで焼き上げ



目視検査をされ包装



食パンはスライスされます



美味しく焼き上がりました



金属探知機でチェック



目視確認と包装不良をチェック

弊社は、昭和23年5月に創業し、お陰様で72期目を迎えることができました。学校給食をはじめ、地元の皆様、県内外の皆様においしいパン、健康に良い物、食べると笑顔がこぼれる、そんなパン作りをモットーに商品開発、製造に取り組んでおります。また、弊社の柱を担います学校給食事業におきましては、パン、米飯合わせて約18,000食、置賜地方を飛び出して県内11市町の子供たちに提供しております。近年問題になっております、工場の老朽化、事業主の高齢化や、後継者不足の問題で県内の工場数も減少傾向にあります。更に今年度には、3市町増え村山、最上地方の方まで27,000食を超える給食の提供をさせて頂いております。これからの山形県、または日本の未来を担う子供たちの食に携われることに、誇りと感謝の使命感を忘れずこれからも邁進していきたいと考えております。

経営統括部課長 大浦 晋太郎



食品検査室だより

平成30年度食品検査実施状況

平成30年度の食品検査実施状況では、本会取扱い検査総数は1477検体（常温物資408検体、低温物資287検体、冷凍食品782検体）その他397検体（配送車、手指の拭き取り、混入異物等）です。市町村共同調理場、学校等からの依頼検査は781検体（細菌検査 505検体、理化学273検体、放射性物質 3 検体）であり、細菌検

査が多数を占めていました。微生物学的な衛生管理が多数の施設で実施されているようです。さらに放射性物質検査も行ってきましたが全ての検体で基準値内（不検出）でした。

なお、平成31年度においても安全・安心な物資の供給が出来ますよう、本会取扱い物資の検査を実施しております。同時に依頼検査も従来通り受けております。食品検査室をご利用下さい。

平成30年度学校給食用物資等検査実績

区分	対象物資	平成30年度検体数	備考	
本会取扱い物資の検査	常温物資	408	本会取扱い物資全て細菌検査及び放射性物質検査を実施	
	低温物資	287		
	冷凍物資	782		
	計	1,477		
	その他	397	配送者、手指、拭き取り検査	
	小計	1,874		
市町村共同調理場学校等取扱い物資検査	希望する食品手指、調理器具等の拭き取り検査、その他	細菌検査 505 理化学検査 273 放射性物質検査 3	生菌数、大腸菌群、黄色ぶどう球菌 澱粉、蛋白、脂肪 ヨウ素、セシウム	
	小計	781		
	講習会等における品質管理指導	学校給食関係者、市町村、委託加工場、その他	講習会 30名	
		合計	検査検体数 2,655件 講習管理指導 30名	

調理従事者から食品汚染が起こる要因

- I) 手洗いの徹底 二度洗いの励行。
- II) 調理スタッフの健康管理の徹底。
- III) ノロウイルスは非常に小さい（しわ、指紋、爪の間）に入り込むとなかなか取れない。
- IV) 糞便やおう吐物の中には大量のウイルス粒子がある。
- V) 少量のウイルス摂取で発症する。
- VI) 知らないうちに、感染源となる不顕性感染。
- VII) ノロウイルスの排出期間は思っているより長い。
- VIII) 環境中で生存性が強い。
- IX) アルコールが効きにくい。（蛋白質で覆われていて被膜（エンベ）を持たない）。

ノロウイルス

平成30年度放射性物質検査（4～3月）

	対象物資	実施件数	備考
本会取扱い物資	常温物資	408	不検出*
	低温物資	287	不検出
	冷凍物資	782	不検出
市町村共同調理場学校等依頼	食 材	3	不検出

* 不検出（10Bq/kg）

食品検査室からのご案内

食品検査室では、衛生管理の一助として市町村共同調理場、学校からの依頼検査を受け付けてまいりましたが、従来の細菌検査、理化学検査に加え放射性物質検査も可能です。

ご希望の調理場、学校等はホームページ上の「食品検査依頼書」により申し込んでいただくようお願い致します。

また、研修会等での衛生指導のご依頼も受け付けておりますのでご相談下さい。

衛生管理室長 高橋長一郎

TEL：023-622-0938

